

ひかり

一般社団法人

光陽福祉会

発行日 平成 26年1月 第42号

新年あけましておめでとうございます。
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

「夢」

会長 菊池 利哉

さて、突然ですが、夢はありますか？最近の子どもたちには夢がなくなっているという報道されています。

私事に置き換え、幼少期の頃からの夢を追ってみました。5歳頃の夢は仮面ライダーになりたい。10歳頃の夢はジャニーズ事務所に入りたい。15歳頃の夢は吉本興業に入りたい。20歳頃の夢は宝くじを当てたい。無謀の夢を妄想しながら過ぎてきたそれぞれの年代。しかし、楽しかった。目を閉じ妄想しながら吉本興業の芸人として、明石家さんまさんとテレビに出る。或いは、宝くじが当たったことを考えてみる。誰に言うか？どんな使い方にするか？それだけでわくわくするものでした。

ところが、現実的な大人になった今は、どうだろうか？仮面ライダーになんかなれるわけがない。ジャニーズ事務所に入るには親が大変そう。吉本興業で芸人ってごはん食べれるの？宝くじ、せいぜい当たって3000円。夢がない。そしてこの夢がない私は、息子の夢を壊す現実的な発言をしてしまう。5歳の息子に「夢は？」と聞くと「レーザーになりたい」と言う。思わず、「危ないよ」と言ってしまう。

子どもたちの夢がなくなったのではなく、子どもたちの夢を大人が壊しているのかもしれない。今こそ大人が夢を見ることの大切さ、夢を見ることの喜びを子どもたちに伝えていかなければならないのかもしれない。

本年は、私も大きな夢を描きます。法人としても大きな夢を持ち続けます。

そして、何より子どもたちの夢を育める法人として一層の努力をして参りますので、本年も理事・職員一同宜しくお願い申し上げます。

きっずサポートはぐくみ

“楽しい”の効果

大島 由美子

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。
今年も馬といえど…個人的なイメージですが、澄んだ瞳で静かな輝きを秘めているイメージがあります。子ども達の目もいつも輝いていて、キラキラとキレイで純粋な目をしてしています。その目の輝きをいつまでも…という思いから、2014年「楽しみながら身につける」をテーマに進めて行きたいと思っています。

『手遊び・うたの力』

楽しみながら…という事で、いつも頼りにしているものに「うた」

サンタさんくるかな～？

があります。

はぐくみメンバーは歌が好きな子が多いので大活躍!!
「うた」といっても色々ですが…朝は、さわやかで躍動感を感じるもの、お弁当の時間は、ボリュームを控めにし、ゆったりと食べられるような曲を選んでいきます

「うた」の力は未知なるもの。お弁当の時間に苦手なものを見つけ泣き出してしまっていた子が、好きな曲をかけると気持ちが向上するのか？苦手なものを少しだけ食べてみようという事ができました。それがきっかけで少しずつ食べれるものが増えてきたのです。

簡単に偏食は治るものではありませんが、食事の時間を“楽しい”と感じさせてくれる魅力が「うた」にはあるのです。

自由遊びの時間にもいろいろな曲のCDを流していますが、曲を止め、「片付けだよ～」と声をかけると、一気に片付けモードに変わります。曲のストップが時間の区切りの合図となり、子ども達の心を切り替えさせる力「うた」なのです。

「今日のはぐくみの日」これから1日はママとお別れして頑張る！の合図となるように、いつも朝の会で歌う「うた」があります。「うた」は様々なきっかけや気持ちと育んでくれる魔法の1つなんですね。

子ども達は、手遊びも大好き(●^o^●)。同じものでも飽きがこない様子で、毎度同じ手遊びの要求も。朝の会での読み聞かせタイムでは、職員が絵本を手にした途端に…子ども達の方から“トントントン！”と声が…

キラキラした目で手遊びを待ち、スタンバイしているんです。

子ども達のやる気を引き出すために、いつも「手遊び・うた」にサポートしてもらっています。これからも、「うた」で切り替えるきっかけ、「手遊び」でやる気を育み「楽しんで身につく」環境作りを心掛けていきたいと思っています。



おいしくできるかな？



上手に片付けできたよ♡



おいしょ おいしょ♪

サポートセンターつぼみ

見直してみませんか・・・ 山中 のりよ

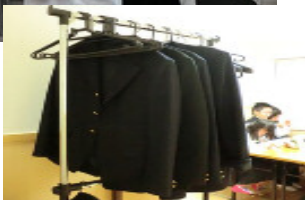
新年おめでとうございます。デイの職員一同、新たに気持ちを引き締めつつ、今年も楽しくつぼみに来てくださるお子さんたちと過ごしていきたいと思っています。

昨年の話になりますが、デイのお子さんが何人か就労部門へ実習に行くことがありました。双方の職員が様子を見に行ったり、情報を交換しあったりと、連携しながら取り組んできました。実習ではつぼみとはまた違った緊張した姿や集中する様子も見られました。

そんな中で、就労部門からデイにいくつかの課題があがりました。例えばスポーツバッグのかけ方についてです。斜め掛けや片方の肩にかけるのではなく、体の前にぶら下げるなど独特の方法で掛けるお子さんが、つぼみには何人かいました。デイの職員は毎日子どもたちと過ごすうち、ちょっと不自然な掛け方だと思いつつもそのお子さんたちの個性のように感じて、やり過ごしていたところがありました。正直、まずは自分の持ち物を自分で管理できればよし、という思いもありました。でも考えてみれば、職場へ実習に出るには、あまり格好良い姿ではありません。周りに受け入れられる自然な姿の方が本人にとって得ですね。身に付いた習慣はなかなか簡単には変わらないものの、今ではつぼみでバッグの掛け方に気を付けるよう働きかけています。

一般社会により近い現場にいる就労部門の視点を中高生のデイでも持たなくてはと、改めて思っています。持ち物についてはどうでしょう。たとえば、買い物のとき財布を首から下げたり、開閉や出し入れがしやすいというだけで、あまりお財布らしくないものを使っていることがあります。始めて財布を使ったころには、そういう物を用意することが必要だったのだと思います。変化が苦手なお子さんもいるなかで、年齢が上がってもそのまま使い続けてきたのでしょうか。首からかけたらちょっと不自然に見える年頃だし、大人向けの財布にしてみたら似合うのではないかな、など感じることもあります。毎日接し続けているとお子さんたちの状態に慣れてしまい、ついつい世間一般の感覚を忘れそうになることがあります。他の持ち物や服装についても、一度立ち止まって「この年頃では普通どうなのかな」「人から見てどう見えるのかな」と考えてみるのが時には必要だと感じます。

もちろん、それぞれのお子さんの実際の状態に配慮してのことが当然あると思います。ただ、年齢と共に体も変化し、似合うものが変わっていたり、いつの間にか、出来ないと思っていたことが出来るようになっていたりもします。ちょっとした気づきで変えられるところを変えるだけでも周囲に与える印象がずいぶん変わることもあります。身だしなみ一つでも、社会の「常識」を踏まえた姿でいられることは、子どもたちが社会の中で少しでも幸せに過ごせる人になるための、大切な手段の一つだと思います。その視点を忘れずにお子さんたちと接していきたいと思っています。



サポートセンターつぼみ

おにぎり屋さん開店します

村瀬 真理

3グループでは、小・中・高 合同でおにぎり屋開店に向けて、さまざまな活動をしています。

学習・・・おにぎり型マグネットや模型を使用し、算数を学びます。

10という数字とおにぎり10個は一致しているかな、
30個のおにぎりで何パックできるかな(1パック 3個入り)、
秤の使い方を知り、ごはん80g～90gを量ることが出来るかな、
お米一合は炊くとごはん約320g、一合でおにぎりはいくつ出来るかな？おにぎりは○個、海苔は○枚、パックは○パック、
お米は○合、水は○cc (ml)、数え方を学びます。

演習・・・お客さんの顔を見て、笑顔で大きな声で「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」が言えるようになりましょう。店員さんとしての態度は？身だしなみは大丈夫？友達を見て気付いて自分を振り返りましょう。

自活・・・米を研ぐ練習をしています。

〈つぼみ式 米の研ぎ方〉

ボールにザルをセットして行います。

- ①米をザルに入れる
- ②水を入れて、3回まぜて水ですてる
- ③水を入れて、くまの手で20回まぜて水ですてる
- ④・⑤ 繰り返す
- ⑥「出来ました」と報告をする

高等部は、「つぼみ式」だけでなく、それぞれの家庭での研ぎ方を報告し、
頂けるとありがたいです。

調理・・・調理の前に、手の形づくり、握り方、回転を確認します。

手の形づくり・・・おにぎりの模型の角に手をあてて山の形に曲げます。

握り方・・・支える手の平をコの字に曲げて、側面(白)を押します。

回転・・・色の変化を見て、一定方向に回転させます。

炊きたてのごはんのにおい「くさ～い」「おいしそう」「いいにおい」感じ方はさまざまです。ごはんを持ち「あつい ヤケドする 持てないよー」などにぎやかな子供達も握る時は真剣な表情で手の形を職員に確認しながら、1.2.3と自分でリズムをとりながら握る子もいます。最初はボール型だったのが、すこしずつ角が出来て三角に近づいているかも？まだまだこれからです。

よ、エプロン・三角巾の着服の訓練も兼ねます。エプロンは体のサイズに合っていますか？三角巾は後ろで結ぶだけの余裕がありますか？ご家庭で確認をお願いします。

おにぎり屋では、接客・会計・握り担当・パック詰めなどの役割があります。

それぞれが自分のできる仕事で力を発揮し、みんなで「おにぎり屋」をオープンさせたいと思います。 どうぞお楽しみに!!



第2サポートセンターつぼみ



～総合学習～

橋本 保奈美

こんにちは。寒い日が続きますが体調は崩されていませんか？寒い冬を元気いっぱい子どもたちとともに乗り越えていきたいと思います。

さて、今回は10月から行ってきた総合学習について紹介をします。

総合学習では、お茶の出し方の練習をしています。まずは、お茶を注ぐ作業からの練習です。初めころはカップぎりぎりまで

入れたり、カップの半分程しか入っていなかったりと適度な量が難しかったようですが、①線を描いたカップ

②点線を書いたカップ ③印のみを書いたカップ

というように視覚的に分かりやすくして段階を踏んで繰り返し練習をしたところ、これくらいという感覚が身についたように感じます。子どもたち自身もおやつの際には「お茶は8分目まで入れる。」と

口にしながら意識をしている姿が多くみられます。また、ピッチャーを持つ時に片手になってしまう子が多くいたので作業をする際は両手で行うことを徹底して取り組んでいます。お茶を入れたら運ぶ練習もします。①カップにお茶を注ぐ②ソーサーにカップを乗せる③準備したものをお盆に載せて、スプーンをセット

④相手のもとへと運ぶ⑤片手でお盆を持ちながらソーサーを持って相手の前に「お待たせしました。」と一声かけて置く。（※この時はカップの持ち手とスプーン

の持ち手が右側に来るように注意！！）この練習を何度も繰り返してきました。練習時は一人がお客様役、一人が店員役、あとのメンバーは様子をよくみて一連の作業を終えてから良かった点や直すと良い点を発表しあいます。コップの持ち手は飲み口になるから触ってはいけないことや、ソーサーの中心にしっかりとカップを置くといった細かい点についての気づきが自分たちで発見できるようになってきました。また、療育中に集中して相手の動きなどを真剣にみている眼差しや、そこから作りだされる緊張感をとてもよく感じています。

現在は、つぼみでの練習やお茶を使っの練習をしています、徐々にレベルを上げて、コーヒーや紅茶の作り方を身につけていき発表出来る場を設けて成果を披露出来る日が来ると思っています。お家でも是非子供たちにお茶を注いでもらって下さい。今後も経験を積んで更に上達していけるよう支援していきたいと思っています。

現在、つぼみでの練習やお茶を使っの練習をしています、徐々にレベルを上げて、コーヒーや紅茶の作り方を身につけていき発表出来る場を設けて成果を披露出来る日が来ると思っています。お家でも是非子供たちにお茶を注いでもらって下さい。今後も経験を積んで更に上達していけるよう支援していきたいと思っています。

現在、つぼみでの練習やお茶を使っの練習をしています、徐々にレベルを上げて、コーヒーや紅茶の作り方を身につけていき発表出来る場を設けて成果を披露出来る日が来ると思っています。お家でも是非子供たちにお茶を注いでもらって下さい。今後も経験を積んで更に上達していけるよう支援していきたいと思っています。

現在、つぼみでの練習やお茶を使っの練習をしています、徐々にレベルを上げて、コーヒーや紅茶の作り方を身につけていき発表出来る場を設けて成果を披露出来る日が来ると思っています。お家でも是非子供たちにお茶を注いでもらって下さい。今後も経験を積んで更に上達していけるよう支援していきたいと思っています。

現在、つぼみでの練習やお茶を使っの練習をしています、徐々にレベルを上げて、コーヒーや紅茶の作り方を身につけていき発表出来る場を設けて成果を披露出来る日が来ると思っています。お家でも是非子供たちにお茶を注いでもらって下さい。今後も経験を積んで更に上達していけるよう支援していきたいと思っています。

現在、つぼみでの練習やお茶を使っの練習をしています、徐々にレベルを上げて、コーヒーや紅茶の作り方を身につけていき発表出来る場を設けて成果を披露出来る日が来ると思っています。お家でも是非子供たちにお茶を注いでもらって下さい。今後も経験を積んで更に上達していけるよう支援していきたいと思っています。

現在、つぼみでの練習やお茶を使っの練習をしています、徐々にレベルを上げて、コーヒーや紅茶の作り方を身につけていき発表出来る場を設けて成果を披露出来る日が来ると思っています。お家でも是非子供たちにお茶を注いでもらって下さい。今後も経験を積んで更に上達していけるよう支援していきたいと思っています。

現在、つぼみでの練習やお茶を使っの練習をしています、徐々にレベルを上げて、コーヒーや紅茶の作り方を身につけていき発表出来る場を設けて成果を披露出来る日が来ると思っています。お家でも是非子供たちにお茶を注いでもらって下さい。今後も経験を積んで更に上達していけるよう支援していきたいと思っています。



これくらいかな？



お待たせしました！！



こぼれないように気をつけよう！！